

令和5年度 第50回「部落差別をなくする運動」

強調旬間啓発事業

参加者アンケート



大変わかりやすかった。学校教育や行政による啓発などの重要性を再認識した。大切なのは、客観的な視線で人権問題に向き合うこと。改めて部落差別解消推進法の意義をかみしめることができた。



題目の「どこにあるの？」に対し、自分は「場所」をイメージしていたけれど、当事者と周囲の人々の心にあることを知り、ハッとした。



「寝た子を起こすな論」は、「部落問題が消えていく」ということではなく、「部落問題を差別的に知ってしまう」ことを意味すると学びました。まわりに伝え、考えていきたいと思います。